

SSD セーバーのバージョンアップ履歴

Ver1.01 2009年3月23日

初版

Ver1.10 2009年11月13日

- ①アンインストール時、削除されないファイルやフォルダがあったが、削除されるようになった。
- ②Windows2000のインストール後の再起動時、「はい(Y)」をクリックしても再起動しなかった問題に対応した。

Ver2.00 2010年7月13日

- ①Windows7 32bitに対応した。
- ②VISTAとWindows7の場合、Windowsアップデート等で10分の時間制限を無くした。
- ③ウイルス対策ソフトのアップデートの判断を、指定したレジストリで判断するようにした。
- ④ウイルス対策ソフトの新バージョンに対応した。
- ⑤特定アプリケーションのアップデートに対応した。
- ⑥rw_update.iniでのパス指定で環境文字列を使用出来るようにした。
例) DirPath0 = %USERPROFILE%\Application Data\ROMWin
- ⑦シャットダウン時のアップデート処理時にビープ音を鳴らすようにした。
Windows Update なしの時；処理開始時（低単音）、処理終了時（高単音）
Windows Update ありの時；処理開始時（低単音+中単音）、処理終了時（高単音）

Ver2.01 2010年11月2日

- ①Windows7 64bitに対応した。
- ②ライセンスの削除機能を追加した。
- ③ウイルス対策ソフトの新バージョンに対応した。

Ver2.01b 2011年6月21日

- ①SATAのSSDをROM化している環境で、IDE接続でCFやHDを接続すると、ROM化にならなくなる問題に対応した。
- ②ウイルス対策ソフトの新バージョンに対応した。
- ③特定アプリケーションのアップデート機能の新バージョンに対応した。

Ver3.10 2011年9月21日

- ①ファイルログドライバを改善した。
- ②Trim コマンドを出さないように設定するようにした。
- ③タスクスケジュールを無効に設定するようにした。
- ④Superfech サービスを無効に設定するようにした。
- ⑤保存ディレクトリに %USERPROFILE% の使用を可能にした。
- ⑥新規ユーザー保存機能を追加した。
- ⑦AMD SATA Controller 搭載 PC が ROM 化にならない問題に対応した。
- ⑧boot.ini が C:以外にあった場合でも対応出来るようにした。

Ver3.11Xp 2012年3月6日

- ①WindowsXP のみ、指定したメモリ番地を SSD セーバーで使用しないようにする機能を追加した。
- ②WindowsXP の boot.ini 用オプションスイッチ用バッファサイズを 128 文字から 256 文字に増やした。
- ③RAID に対応した。
- ④ウイルス対策ソフトの新バージョンに対応した。

Ver3.11 2012年4月13日

- ①WindowsXP 64bit に対応した。
- ②Windows2000 以外の全てで、指定したメモリ番地を SSD セーバーで使用しないようにする機能を追加した。

Ver3.12 2012年6月7日

- ①PAE に対応し、ライトエミュレーションメモリは OS 管理外メモリから OS 管理内メモリを使用するようになった。
- ②32bitOS で、4GB 以上の OS 管理外メモリが使用出来るようになった。
- ③Windows7 の「システム回復オプション」を無効に設定するようにした。
- ④ROM-Win SSD-2.5 SATA に対応した。
- ⑤SSD のパーティション作成ツールを追加した。
- ⑥Windows の起動途中でシャットダウンされた時に、更新内容がディスクに反映されてしまう問題に対応した。
- ⑦ライセンスプログラムに、ドライブ選択機能を追加した。
- ⑧ウイルス対策ソフトの新バージョンに対応した。
- ⑨特定アプリケーションのアップデート機能の新バージョンに対応した。
- ⑩Atom の CPU 等を使用した PC へインストールした時、STOP: 0x000000D1 が発生する問題に対応した。
- ⑪PAE 対応の CPU かどうかの判定と実装メモリ容量が 4GB 以上かを確認後、4GB 以上の実装メモリの使用可能容量を検索するようにした。
- ⑫ライセンスプログラムで、RAID/SCSI のディスクに対応した。

Ver3.14 2013年8月8日

- ①Windows8 に対応した。
- ②ライセンスプログラムのドライブ選択機能で、リムーバブルドライブを除外するようにした。
- ③ライセンスプログラムのドライブ選択機能で、ドライブの自動選択を最後から先頭に変更した。
- ④USB2.0 メモリへライセンスを書き込んだ場合に、ライセンスが無い状態になる問題に対応した。
- ⑤インストール時のオプション設定を追加し、ディスククリーンアップを呼び出す機能と、Superfetch や Windows Search、Windows Defender、Security Center、Windows Update を無効にする設定を設けた。
- ⑥set_emem.exe の、メモリの自動設定値修正した。

Ver3.15 2014年4月10日

- ①GPT ディスクに対応した。
- ②ライトエミュレーションの OS 内管理メモリの確保を、一括から必要に応じて確保する方式へ変更した。
- ③Windows Update の判定を改良した。
- ④ウイルス対策ソフトの新バージョンに対応した。
- ⑤eMMC の SSD に対応した。

Ver3.16 2015年9月18日

- ①Windows10 に対応した。
- ②Windows 8 以降 StartComponentCleanup を停止するようにした。
- ③Windows 8 以降 Regular Maintenance を停止するようにした。
- ④AUTOROM の空き容量の設定値を以下の様に変更した。
 - a) $S_{free} = S_{emu} * 0.75$... Windows 7 以前
 $S_{free} = 100$ (Semu <= 100 時)
 - b) $S_{free} = (S_{emu} - 300) * 0.75$... Windows 8/8.1
 $S_{free} = 200$ (Semu <= 500 時) (swapfile.sys: 256MB)
 - c) $S_{free} = (S_{emu} - 30) * 0.75$... Windows 10
 $S_{free} = 200$ (Semu <= 230 時) (swapfile.sys: 16MB)
- ⑤ライセンスプログラムの、GPT ディスクへのライセンス書き込み処理を見直した。

Ver3.17 2016年6月22日

- ①自動復元ポイントを無効化した。
- ②「アクションセンター設定」(Windows10は「セキュリティとメンテナンスの設定」)の、起動オプションを追加した。
- ③Windows Defender 設定の、起動オプションを追加した。
- ④Windows Defender 無効化オプションを追加した。
- ⑤Task Scheduler の無効化オプションを追加した。
- ⑥ストア アプリケーションの展開抑止オプションを追加した。
- ⑦診断追跡サービスの無効化オプションを追加した。
- ⑧オプション設定をデフォルトにした。
- ⑨インストール後のライトエミュレーション容量の設定変更時、ディスク領域の設定も変更可能にした。
- ⑩GPT ディスクの空き領域を、ライトエミュレーション用に利用可能にした。
- ⑪32bit 時の set_emem.ini ファイルの、「UseOver4GBMem = 1」をデフォルトにした。
- ⑫ウイルス対策ソフトの新バージョンに対応した。
- ⑬特定アプリケーションのアップデート機能の新バージョンに対応した。

Ver3.17-2 2016年7月27日

- ①Intel スティック PC(STK1AW32SC)等の SD バス接続のディスクに対応した。
- ②NVMe express のディスクに対応した。
- ③オプションのデフォルト設定の有効/無効を、設定可能にした。

Ver3.17-3 2016年8月25日

- ①Windows10(1607)版に対応した。

Ver3.17-4 2016年9月29日

- ①KINGSTON 等一部の SCSI 認識のディスクにライセンス登録出来ない問題に対応した。

Ver3.17-5 2017年1月27日

- ①Task Scheduler の無効化オプションを削除した。

Ver3.17-6 2017年2月28日

- ①Intel スティック PC(STCK1A32WFC)等の SD バス接続のディスクに対応した。

Ver3.17-7 2017年5月30日

- ① Windows10用のドライバをマイクロソフトの署名に変更した。
- ②

Ver3.18

- ①Windows10 1803 に対応して、レジストリの更新処理を変更した。
- ②Windows10 1809 に対応して、Windows Defender の設定方法を変更した。
- ③Windows10 1809 で「Security Center を 無効にする」が機能しなくなった為、定義を変更した。
- ④Driver フォルダに Win10.1709 フォルダを追加した。
- ⑤ウイルス対策ソフトの新バージョンに対応した。

Ver3.19 2019 年 4 月 26 日

- ①SD デバイスでシリアル番号が無い場合は、MAC アドレス+UUID を使用するようになった。
- ②RAID/SCSI 認識するディスクで LAN が無い場合は、UUID を使用するようになった。
- ③NVMe ディスクは、常に UUID を使用するようになった。
- ④MAC アドレスが複数ある場合の対応を改善した。
- ⑤Windows Update と Windows Defender の無効化オプションの設定を改良した。

Ver3.20 2020 年 9 月 1 日

- ①USB メモリが UDRWG4 から UDRWG5 に変わった。
- ②ストア アプリケーションの自動ダウンロード/自動インストールを無効にする WSDownloadDisable.reg を追加した。

Ver3.21 2021 年 4 月 28 日

- ①Windows10 20H2 以降は、「オプション設定」の「ストア アプリケーションの展開を抑止する。」のチェックを外した。

Ver3.21-1 2021 年 8 月 18 日

- ①Windows10 2004 以降に、ROM 化の表示でもファイルが保存されてしまう問題を修正した。
- ②Windows Update 後にスタートメニューを表示しなくなる問題を修正した。

Ver3.22 2021 年 11 月 18 日

- ①Windows11 21H2 に対応した。
- ③ PC の機種によって、DVD ドライブのアクセス時にブルースクリーンになる問題を修正した。
- ④

Ver3.23 2022年7月28日

- ①インストール時のオプション設定の、SSDSET.iniを変更した。
- ②次の設定を追加・変更
 - ・ Superfetch の無効化設定
 - ・ Windows Update の無効化設定
 - ・ Windows Defender の無効化を変更
 - ・ Windows スポットライト機能をすべて無効にする
 - ・ ストア アプリ更新の自動ダウンロードとインストールを無効にする
 - ・ Microsoft Store の全てのアプリを無効にする
 - ・ 検索ハイライトを無効にする
 - ・ 「ニュースと関心事項」を無効にする
 - ・ ウィジェットを無効にする
 - ・ タスクスケジュールのオフ設定

Ver3.24 2023年1月16日

- ①インストール時のオプション設定の、SSDSET.iniを変更した。
- ②ライトプロテクト機能を追加した。
- ③Windows2000用インストーラを削除した。

Ver3.25 2023年7月20日

- ①フィルタードライバをミニポートドライバ方式に変更した。
- ②ログ取得の条件を変更し、処理を高速化した。
- ③OS 内部データへのアクセスを API に変更した。
- ④Windows Update 時にストアアプリ関連の更新機能を追加した。
- ⑤rw_update.ini の指定で、ワイルドカードを使用できるようにした。
- ⑥rw_update.ini の指定で、HKEY_CURRENT_USER 指定できるようにした。
- ⑦rw_update.ini の指定で、UsrClass.dat に対応するキーの指定もできるようにした。
- ⑧アンインストーラを改善した。
- ⑨RWLicense.exe の表示を Windows11 対応にした。